

<令和 8 年 5 月 定例記者会見>

1 開催日時

令和 8 年 5 月 8 日（金）午前 10 時 30 分～午前 11 時 00 分

2 場所

滝沢市役所 庁議室

3 来庁した報道機関

岩手ケーブルテレビジョン、岩手日報社、朝日新聞社、NHK 盛岡放送局

4 発表事項

【案件外】

○岩清水梓さん引退にかかる市長挨拶

本市の名誉市民であり、日テレ・東京ヴェルディベレーザ所属の岩清水梓さんが、今シーズン限りで引退されるという発表がありました。

岩清水さんは、日本女子サッカーを支え、多くの人々に勇気と感動を与えてくださいました。また、サッカー教室を通じて子どもたちに大きな希望を与え、滝沢スポーツ少年団に女子サッカークラブが新設されるなど、本市のスポーツの発展に寄与いただきました。

今後は、子どもたちの育成など、次世代に夢と希望をつなぐ新たなご活躍を心より期待しております。

（１）「チャグバス」の運行開始について（都市政策課）

市と県北バスは、公共交通と観光事業の連携の取組として、路線バスとチャグチャグ馬コをタイアップした「チャグバス」を運行いたします。

「チャグバス」とは、チャグチャグ馬コ仕様に装飾した路線バスであります。公共交通であるバスの利用促進と、本市の主要観光資源であるチャグチャグ馬コの PR のため、市とバス事業者が協力し、平成 30 年度からチャグチャグ馬コの開催時期に合わせて運行しております。

今年度は、5 月 13 日または 14 日から 6 月 13 日のチャグチャグ馬コ当日まで路線バスとして本市近郊の路線で運行いたします。

「チャグバス」の装飾作業は、市内の元村保育園の園児の皆さんに協力をいただき、保育園前駐車場にて 5 月 13 日（水）午前 10 時から行うこととしております。

また、装飾作業に併せてチャグチャグ馬コやちゃぐぼんも園児の皆さんを応援に訪れます。園児の皆さんによって色鮮やかに装飾された「チャグバス」に多くの方にご乗車のうえ、ご覧いただきますようお願い申し上げます。また、6 月 13 日のチャグチャグ馬コ当日には、壮大な馬コの行進をご覧いただきますよう併せてお願い申し上げます。

なお、10 月から実証運行の開始を予定している、滝沢市コミュニティバスの愛称について、市内外から 142 件もの応募がございました。たくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。選考の結果、愛称は「たきバス」に決定いたしました。

運行の詳細については、後日ご案内いたしますので、「たきバス」もぜひご利用ください。

(2) 令和8年度滝沢市消防演習の開催について（防災防犯課）

滝沢市消防団の総合防災訓練及び特別訓練の機会とし、また、住民への防火思想の高揚を図ることを目的として、6月7日（日）に、ビッグルーフ滝沢防災広場にて令和8年度滝沢市消防演習を開催します。

今年度は、昭和23年に寄贈された日本腕用ポンプ乙型を用いた第5分団顧問による腕用ポンプ操法の実演も行われます。

また、昨年度に引き続き、令和7年3月に市と包括的な連携協定を結んだ、ドローンピーク運営会社であります湊運輸倉庫株式会社様のご協力により、ドローンによる災害物資を輸送する「ドローン物資輸送訓練」も行われます

その他、社会福祉法人滝沢市保育協会（南部）の園児による、幼年消防クラブ防火演技も披露される予定です。

5 市発表案件について記者からの当日質問

記者：消防団員の人数、団員数の増減について教えてください。

防災防犯課長：通常の消防団員は、おおむね300人を切る程度です。また、機能別消防団員20人を合わせると、通常の消防団員と合わせて320人程度となっています。

記者：機能別消防団員とは、どのような制度ですか。

防災防犯課長：機能別消防団員は、消防団を退団した方のうち、班長以上の役職を経験し、火災現場での経験がある方を対象とした制度です。日中は市内外で働く消防団員が多く、消防団員が集まりにくい状況もあるため、退団者の経験を生かし、火災現場に出動していただくものです。消防車両に乗ることもでき、現場では経験を生かして活動していただいています。先日、外山地区で発生した火災でも、3人ほど機能別消防団員が出動し、活動しました。

企画政策課長：広域消防を引退された方も機能別消防団員になることができます。消防団員数は、令和5年度に286人と最も少なくなりました。その後、本市におきましては、少しずつ増加傾向にあります。定員は420人ですので、定員にはまだ届いていない状況であり、人材不足が課題になります。

記者：消防団員確保の取り組みについて教えてください。

防災防犯課長：団員確保に向けては、団員を勧誘した分団を表彰する取り組みや、女性消防団員の加入促進を行っています。また、消防団の行事は大変という印象もあるため、操法大会などの行事の見直しも進めています。消防団員が活動しやすい環境をつくりながら、団員数の維持・確保に努めています。

市長：市内大学で消防団の勧誘活動を行っています。その結果、卒業後に市内企業や金融機関に勤務している方が、「地域で何か貢献したい」という思いから消防団に入団した方もいます。ほかにも、高校の吹奏楽部に所属している生徒がラッパ隊に加入しています。若い方が一歩前に出て活動してくれることで、消防団に興味を持つ方が増えると感じています。

6 その他記者からの当日質問

記者：岩清水梓さんの引退に関して、今後、滝沢市として何かつながりを持つ予定や、こ

れまでの交流があれば教えてください。

市長：名誉市民に認定された際に花束贈呈などを行ったほか、ご家族からユニフォームやシューズなどを寄贈いただきました。また、今後、本県を訪れる予定があると伺っています。その際には、これまでの活動への感謝を込めて、花束などを持って伺いたいと考えています。今後については、本人の予定や所属先との関係もありますので、状況を見ながら対応していきたいと考えています。

記者：岩清水さんは、岩手県を訪れる際、滝沢市を訪れる予定なのでしょうか。

市長：現時点では、本市に来るかどうかもまでは確認できていません。本県にはサッカーの指導のため訪れるという話を伺っています。

記者：4月17日にオープンした滝沢チャグチャグモール周辺のにぎわいについて、どのように受け止めていますか。

市長：オープン以降、多くの方に訪れていただいています。向新田線を通る新しい道路からは、天気の良い日には岩手山を望むことができ、新たなビューポイントになっていると感じています。また、道路開通に合わせて開催したストリートフェスティバルでは、1日で約1万2千人に來場いただきました。その中で、訪れた皆さんと共ににぎわいを作り上げていく雰囲気が生まれていると感じています。今後も、関係者や地域の皆さんと一緒に、滝沢市の新たな顔として開発を進めていきたいと考えています。

記者：熊の出没や被害への対策について、市としてどのように考えていますか。

市長：熊の出没情報については、LINEなどを通じて、登録している市民の皆さんに常にお知らせしています。また、八幡平市で熊による被害とみられる事案があったことを受け、改めて注意喚起を行うこととしています。山に入る際は、一人で行動しないこと、ラジオや鈴を携帯することなど、基本的な対策を守っていただくよう周知していきます。週末に山菜採りなどで山に入る方もいると思いますので、防災行政無線なども活用し、市民の皆さんへ注意を呼びかけていきます。今後も熊の出没情報があった場合は、猟友会など関係機関と連携しながら対応していきます。